平成２０年１１月７日　№２７

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒229-0039 相模原市中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

PART23

学社連携・協働の動き

今回は、学社連携・協働とは少し異なりますが、小学校と中学校の連携をテーマに、内郷小学校と内郷中学校の取り組みを紹介いたします。

部活動交流

昨年度から、内郷小学校の６年生は連合運動会に向けて、中学校の陸上部を訪問し、直接中学生に走り方などを教えてもらう機会を設けています。

中学生の部員が、マンツーマンで一生懸命教えてくれますので、技術面の向上はもちろんですが、小学生と中学生とのよい交流の場となっています。

６年生に教える陸上部員

交流の成果があってか、昨年度は、連合運動会において、６年生が男子１００メートル走で市内第１位に輝いたり、今年度は、１０月２１日に行われた女子５０メートル走で第１位を取ったり、輝かしい成績を収め、教えた中学生もやり甲斐を感じたり、ともに喜びを分かち合ったりしています。

内郷地区は、５０年以上も前からスポーツ振興に力を注いでおり、この地区だけで独自に駅伝を開催しています。今年度、こうした地道な取り組みが認められ、内郷地区スポーツ振興会が大臣表彰を受けられたそうです。

部活動交流　　～中学生の話を聞く６年生～

内郷小・中合同研究会

児童・生徒の健全な育成を図るために、小学校と中学校の連携のあり方などについて協議し、その成果を今後の指導に役立てることを目的に、小・中合同研究会を開いています。

小・中学校の会場で各１回、年間２回実施しています。会場校は、Ａ４用紙１枚程度の指導案を用意し、全学級で授業を公開します。その後、児童・生徒の様子について報告し合ったり、グループに分かれて「児童・生徒理解や子どもの育ち」を中心に情報交換や協議をしたりしています。

小学校の先生方は、卒業させた子どもたちが、その後どのように育っているかを見ることができます。中学校の先生方は、入学してくる子どもたちの様子を知ることができます。また、お互いに小・中学校ではどのような教育が行われているかを把握することもできます。

小・中学校の教育活動に対する相互理解と、教職員の相互信頼のもとに、内郷地区の子どもたちはしっかりと育っています。

この合同研究会は、今年度で８０回を越え、長きにわたり脈々と続いてきた取り組みです。幾度か終了の危機があったそうですが、当時の校長が「ここまで続いてきたものなのだから、何か計り知れない価値がある。続けよう。」と、乗り越えてきたそうです。

授業を参観する先生方

先生方の教育に対する熱い思いと心意気と、努力によって支えられてきた取り組みに、内郷小・中学校の伝統を感じずにはいられません。

グループ別で協議する小・中学校の先生方